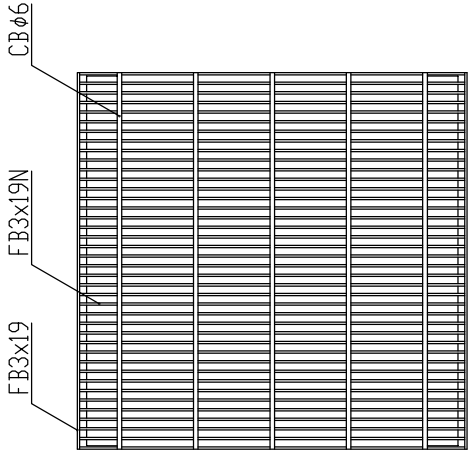
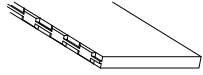
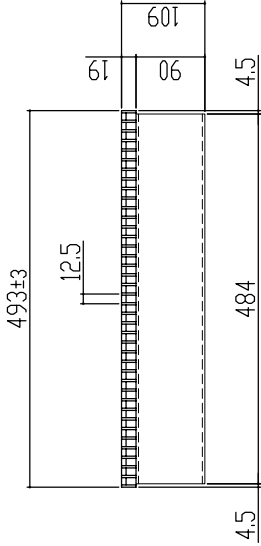
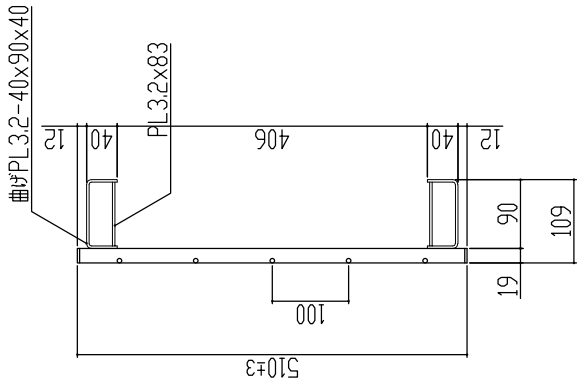




車両進行方向(側溝)



本体重量 16.4kg

主部材詳細図

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)

訂正年月日	訂正番号	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	検印	製図	図面名称	
	標準製作図面						山口	松本	かさ上げJIS道路側溝用(スチール)グレーチング 溝幅400用 細目/onslip	
	試作図面								歩道用 NHJK110-193N-4H	
	特注図面								図番	
									MKG-N-262-2	
									株式会社 マキテック MK駐輪事業部	

グレーチング強度計算書



仕様	品 名	NHJK110-193N-4H
	製品寸法	510x493x19+90
	主部材	FB - 3 × 19

設計条件	支点間距離	L= 406	許容たわみ量	$\delta b = L/500 = 0.812$
	主部材ピッチ	O= 12.5 mm	ヤング係数	E = 2100000 N/mm ²
	断面二次モーメント	I= 0.171 cm ⁴ = 1714.75 mm ⁴		

3 強度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{設計強度} \times \text{ピッチ}$ より $\omega = 0.005 \times 12.5$ $\omega = 0.06 \text{ (N/mm)}$ 2. ベアリングバーの最大たわみ: δ (mm)を求める。 $\delta = 5 \times \omega \times L^4 / 384 \times E \times I$ より $\delta = 5 \times 0.0625 \times 27170906896 / 384 \times 2100000 \times 1714.75$ $\delta = \underline{\underline{0.006140 \text{ (N} \cdot \text{mm)}}} \leq 0.81 \text{ (許容たわみ量)}$
-------------------	---

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--